

## 東三河日本語スピーチコンテスト

東三河5市国際交流協会と同コンテスト実行委員会が主催する「第5回東三河日本語スピーチコンテスト」が、1月25日(日)に田原市文化会館で開催されました。コンテストには、東三河に在住し各市から選抜された世界7か国25名の外国人市民が出演。会場につめかけた約200名の聴衆の前で、母国との文化の違いや将来の夢、日頃感じていることなどを日本語で熱く語りました。



出場者と審査員の皆さん

### 〈入賞者(所属は実施当時)〉

#### 【小・中学生の部】

- 最優秀賞 山脇 ユミ(豊橋市立東陽中3年、ブラジル)  
 優秀賞 山口小百合(豊橋市立石巻小5年、ブラジル)  
 特別賞 宮平ジャニカ(蒲郡市立塩津小6年、フィリピン)  
 ベラレアル マウリシオ(新城市立新城中1年、ペルー)

#### 【高校生以上一般の部】

- 最優秀賞 キム ジホ(成章高等学校2年、韓国)  
 早野 良恵(豊橋西高等学校1年、ブラジル)  
 特別賞 フラミニアーノ ライアン(新城市 会社員、フィリピン)  
 李 文慧(田原市 技能実習生、中国)

## 外国人のための税務相談会を開催



今年で12回目となる「外国人のための税務相談会」を、2月1日(日)と8日(日)に豊橋市役所講堂で開催しました。東海税理士会豊橋支部の税理士10名と、NPO法人ABT豊橋ブラジル協会の通訳10名がペアを組み、ポルトガル語、英語とスペイン語で確定申告の書き方や各種相談を行いました。

事前予約制のため、会場では混乱することもなくスムーズに相談会を終えることができました。両日あわせて外国人237名が来場し、その内訳はブラジル人74%、フィリピン人17%、ペルー人7%、他2%でした。豊橋市のブラジル人人口はピーク時と比べると半分以下に減少し、一方フィリピン人が徐々に増えてきており、税務相談会でもその変化を感じることができました。それでもブラジル人の数はまだ圧倒的に多く、住宅控除や自営業の申告などから、従来のデカセギから定住化している市民が多くなっている様子も読み取ることができました。

その他、弁護士相談(2月1日)と行政書士相談(2月8日)を同時開催し、各日6名の相談がありました。

毎年、多くの外国人がこの事業を利用しています。当協会は、東海税理士会豊橋支部とNPO法人ABT豊橋ブラジル協会と力を合わせて、今後も引き続き開催していきます。

ゆたかな地域社会  
 づくりに奉仕する



地元とともに――

理事長 竹田知史

蒲郡市元町5番8号

☎ <0533> 69-5311 (代)  
<http://www.gamashin.co.jp/>

「とよしん」は、ずっとこの街といっしょです。



おたくも うちも

豊橋信用金庫

理事長 吉川一弘

豊橋市小畷町57-9番地 ☎ (0532) 52-0321(代)  
<http://www.toyo-shin.co.jp>